

東北建設マネジ技術協

入札制度など学ぶ

技術講習会に約800人

東北建設マネジメント技術協会(秋葉敬治代表理事)は16日、仙台市の日立システムズホール仙台で建設マネジメント技術講習会を開催した。講習会は発注者支援に携わる技術者を対象に専門知識の習得と技術力向上を目的に毎年実施している。会場150人と配信650人を合わせ約800人が参加し、東北地方整備局の入札制度や働き方改革の

動向などを学んだ。

秋葉代表理事は「建設業界を取り巻く環境において、最新の技術力とマネジメント力の向上に取り組み、品質の高い成果を提供することが重要だ」と呼び掛けた。

講演では東北地方整備局企画部から齋藤茂則技術調整管理官、同技術管理課から尾形敏晴課長補佐、長嶺偉久建設専門官、真野純平課長補佐の4人が講師となり、▽公共事業を取り巻く



参加者は発注者支援業務に関わる最新情報などを学んだ

り、▽公共事業を取り巻く最近の話題▽総合評価落札方式について▽働き方改革施策の取組▽i-Constru ctionの主な取組・最近の動向などを講義した。

齋藤技術調整管理官は自然災害への対応や復興事業の取り組みなどを説明。流域治水の推進については「従来の河川管理者によるハード整備だけでは気候変動に伴う災害に対応しきれない」として、流域のあらゆる関係者と連携した災害対策を進めるとした。

また、インフラの老朽化対策として「予防保全型の維持管理への転換も重要課題だ」として位置付けた。

東北建マネ協会

東北建設マネジメント技術

協会(秋葉敬治代表理事)は

16日、仙台市内で2025年

度の建設マネジメント技術講

習会を開催した。会場では約

150人が参加し、東北地方

整備局の職員4人から総合評

価落札方式や働き方改革の施

策、iコンストラクションな

ど、最新の取り組みに関する

講義を受け、発注者支援業務

を担う者としての知識を深め



秋葉代表理事

管理技術者や担当技術者が参加した。

あいさつで秋葉代表理事は、講習会について技術者の専門知識の習得と技術力の向上を目的に2019年度から開催していることを紹介。台風や

多くの内容が盛り込まれている。会員の皆さんにとっては有意義な研修になるものと大いに期待する」と述べ、発注者を支援する立場として「求められる技術力やマネジメント力の向上に取り組み、品質の高い成果を提供すること」を求めた。

技術講習会では東北地方整備局企画部の齋藤茂則技術調整管理官が「公共事業を取り巻く最近の話題」、尾形敏晴技術管理課課長補佐が「東北

発注者支援で技術講習会

国交省の最新動向字ぶ

た。講習内容は録画配信で約650人が視聴する予定になっている。

講習会は東北地域づくり協会との共催で、日立システムズホール仙台を会場に開催。主に発注者支援業務に携わる

新型コロナウイルスの影響で中止した時期もあったが、22年度から対面形式と録画配信の併用で開催していることを告げた。

その上で今回の講習会に關し「国土交通省が進める最新

地方整備局の総合評価落札方式」、長嶺偉久技術管理課

建設専門官が「働き方改革施策の取り組み等」、真野純平

技術管理課課長補佐が「iコンストラクションの主な取

て、それぞれ説明した。

このうち齋藤技術調整管理官は、本年度の取り組みのポイントとして、大規模自然災

害からの復旧・復興や、防災・減災、国土強靱化の推進、通

持続的な経済成長の実現および個性を生かした地域づくりと分散型国づくりなどを紹介した。

なお、会場で講習会に参

加した受講者にはCPDSの3ユ

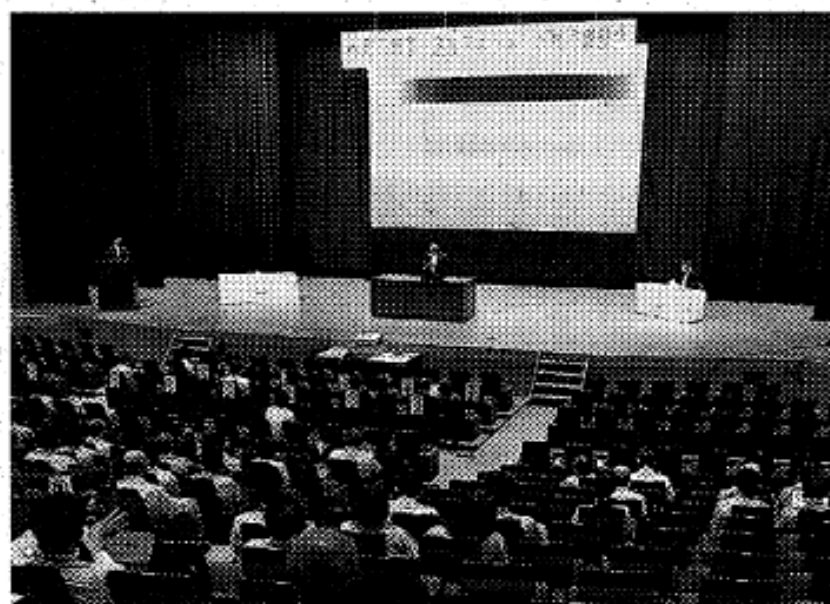


東北地方整備局の職員から最新の施策に関する講義を受けた

800人が発注者 支援専門知識学ぶ

東北建設マネジメント
技術協会が技術講習会

東北建設マネジメント技術協会(秋葉敬治代表理事)は、仙台市青葉区の日立システムズホール仙台で「2025年度建設マネジメント技術講習会」を開いた。写真。東北地域づくり協会(渥美雅裕理事長)が共催。発注者支援に関わる技術者の専門知識の習得と技術力向上を目的に開催し、会場とウェブを合わせて約80



0人が参加した。

冒頭、秋葉代表理事は「発注者支援業務を担うわれわれは、技術力とマネジメント力を高め、より高品質の成果物を提供すること

が求められる。最近の建設業を取り巻く環境を学ぶ有意義な講習会にしてほしい」とあいさつした。

講習会では、東北地方整備局企画部の齋藤茂則技術調整管理官が予備隊員制度の創設によるテックフォース(緊急災害対策派遣隊)の体制強化、25年度予算や第1次国土強靱化実施中期計画など公共事業を取り巻く話題を情報提供した。このほか整備局の総合評価方式や働き方改革、i-Constructionの取り組みなども説明した。

オンライン含め 800人が参加

東北建設マネ技 協の技術講習会

東北建設マネジメント技術協会（秋葉敬治代表理事）と東北地域づくり協会は16日、仙台市の日立システムズホール仙台で2025年度建設マネジメント技術講習会を開いた。II写真。オンライン参加を含め、発注者支援業務に携わる技術者ら約800人が聴講し、専門知識の習得と技術力向上に努めた。

秋葉代表理事は「発注者を



支援するため、建設環境を取り巻く最新の動向に注意を払い、求められる技術力・マネジメント力向上に取り組み、品質の高い成果を提供することが重要だ」と呼び掛けた。

この後の講演では、東北地方整備局企画部の齋藤茂則技

術調整管理官が「公共事業を取り巻く最近の話題」、同部技術管理課の尾形敏晴課長補佐は総合評価落札方式、長嶺偉久建設専門官は働き方改革施策の取り組み、真野純平課長補佐はi-Constructionの主な取り組みと最近の動向をそれぞれ解説した。